

日本天文学会2005年春季年会のお知らせ

2005年春季年会は、2005年3月28日（月）から30日（水）までの3日間、明星大学日野キャンパス（東京都日野市）にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の98巻3月号（2005年2月20日発行）に掲載予定です。

(1) 料金表

項目	会 員	非会員	
参 加 費	3,000 円 (但し会員で講演ありの場合、参加費は無料)	5,000 円	
講演登録費	3,000 円	5,000 円	(1講演につき)
年会予稿集	2,000 円	2,000 円	

※講演申し込み後キャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目	
講演申込	(郵 送)	2005年1月4日（火）必着	日本天文学会年会係	(3) (4) (5) (6)
	(電子メール)	2004年12月20日（月）正午から 2005年1月5日（水）正午まで(注1)	送り先はWebページでアナウンス	
講演順序の指定	2005年1月7日（金）正午まで	年会実行委員会	(7)	
ポストデッドライン・ペーパー	2005年3月23日（水）まで	年会実行委員会	(8)	
最新情報コーナー	年会会期中まで	年会実行委員会	(9)	
保育室の利用申込	2005年2月25日（金）まで	年会実行委員（保育室担当）	(10)	
講演のキャンセル等	分かった時点ですぐに	年会実行委員会	(11)	
各種の会合申込	2005年2月25日（金）まで	年会開催地理事	(12)	
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者の推薦	2004年12月15日（水）まで	年会実行委員会	(13)	
旅費一部補助	2005年1月20日（木）必着	本号「旅費補助について」参照		
ジュニアセッション講演申込	2005年1月4日（火）必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照		

(注1) 電子メールの自動受付は1月6日（木）午前9時まで行いますが、1月5日（水）正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として1月5日（水）正午までに投稿してください。

連絡先

- ◆年会実行委員会 委員長 百瀬 宗武（年会理事・茨城大学）
e-mail: nenkai05@nenkai.asj.or.jp 電話: 029-228-8402 FAX: 029-228-8402
- ◆日本天文学会年会係 長谷川直子
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
e-mail: nenkai05@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487
- ◆年会開催地理事 成相恭二（開催地理事・明星大学）
〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学理工学部物理学科
e-mail: nariai@phys.meisei-u.ac.jp 電話/FAX: 042-591-7198

◎年会開催期間（2005年3月28日～30日）の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- ・講演分野は、以下の14分野です。
H.高密度天体, K.天体力学, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P.星・惑星形成, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V.地上観測機器, W.飛翔体観測機器, Y.天文教育・その他
- ・「企画セッション」は下記の2つです。
A.「世界物理年特別企画 アインシュタイン100年：相対論と天文学」
世話人：山田章一（早稲田大学）・長瀧重博（京都大学）・高田昌広（東北大学）
B.「Solar-B衛星と新しい太陽プラズマ物理学」
世話人：桜井隆（国立天文台）・小杉健郎（JAXA宇宙科学本部）・柴田一成（京都大学）
- ・企画セッションは講演申込前に世話人から依頼される講演と通常の講演、議論の時間などから構成され、その割り振りは世話人が決めます。講演については、事前に世話人に申し込みをし、世話人からまとめて年会への講演申し込みをしていただきます。tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し、申し込みに際しては世話人からの指示に従ってください。世話人の指示と異なる講演形式を選ぶことはできません。

(4) キーワード

- ・分野のあとにプログラム編成のため、キーワードをご記入ください。
- ・特に、以下の分野については「推奨キーワード」の中からも該当するものを選んで、キーワードの先頭に入れてください。
- ・観測機器分野（地上・飛翔体）では関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあればご記入ください。

◎ 推奨キーワード

高密度天体	：ブラックホール, 中性子星, 白色矮星, 降着円盤, ガンマ線バースト, 新星, 超新星, 元素合成
太陽	：太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
恒星	：主系列星, 巨星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 星周縁, 惑星状星雲, 元素合成
銀河	：銀河形成, 銀河進化, 近傍銀河, 銀河系
地上観測機器	：電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
飛翔体観測機器	：電波, 赤外線, 可視光, X線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- ・(a) 口頭講演 (9分間の口頭発表と3分間の質疑応答)；(b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分間の口頭発表)；(c) ポスター講演・口頭発表無し (ポスターのみ) の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。なお (a) 講演で講演者となるのは、年会全体で1人1講演までとなりますのでご注意ください。
- ・口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター (OHP) または液晶プロジェクターを使用してください。なお (b) 講演ではOHPを使用することを推奨しています。
- ・ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は、縦180cm, 横90cmです。)

(6) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- ・規定の申込用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- ・申し込み用の原稿用紙が不足する場合は、必要枚数を天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申し込みの場合

- ・年会のWebページに掲載します。

※講演内容については完成度の高いものに限ります。また予稿集の紙面をできるだけ有効に利用してください。極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは受理しません。

※予稿集は事前配布となっており、2005年2月20日付で発行する予定です。年会のWebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもあり得ます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際等、十分ご注意願います。

◆注意：講演者は氏名の欄で○をつけてください（必ずしも筆頭著者でなくても結構です）。講演登録費は講演者が支払うことになります。

(7) 講演順序の指定

- プロジェクト等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申し込み後期限内に、下記1～4を、年会実行委員会宛にご連絡下さい。尚、(b)講演は3つ一括りが原則です。3つに満たない場合は、最初か最後に並べて下さい。また、ご希望に添えない場合もありますので、ご承知置き下さい。

1.セッション名 2.受付番号 3.発表形式 (a, b, c) 4.発表者名

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- PDLは、単に講演申し込みの締切日に間に合わなかったものではなく、緊急性・トピックス性に富んだものに限定されます。具体的には、約半年後の次の年会での発表まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申し込みよりもかなり受け付けの基準が厳しくなります。
- 年会の申し込み期間締切後 3月23日（水）まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付してください。
- PDLの講演方法は、(b)ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）または(c)ポスター講演・口頭発表無し（ポスターのみ）となります。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- 最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等には掲載されません。
- 発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(10) 天文学会会期中の保育室

- 保育室を設置する予定です。詳細につきましては、年会のWebページに掲載します。あるいは、加藤万里子 年会実行委員（保育室担当）まで、電子メール（mariko@sunrise.hc.keio.ac.jp）か FAX（045-566-1102）でお問い合わせください。

(11) 講演のキャンセルや変更

- やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、速やかに年会実行委員会まで連絡してください。
- ※講演のキャンセルはお金と時間の無駄になります。キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。

(12) 年会時の各種会合

- 会合などのために会議室や講演会場などを使用されたい場合には、年会開催地理事までご連絡ください。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯です。
- 申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

- 多くの会員が関心を持つような話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則的には同時に他のセッション等を行いません。また、会員の多くが興味を持つようなテーマについて、講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員長までご相談ください。

(14) 学生等の旅費一部補助

天文・天体物理若手の会の希望等を受け、申請方法が変わりました。詳しくは次ページをご覧ください。

百瀬 宗武（年会実行委員長）

日本天文学会旅費補助について

日本天文学会では、正会員（学生）の年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、該当する申込締切日までに下記の用紙（学会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/asj/forms.html> からダウンロードできます）に記入の上、郵送かFAXで申請して下さい。

応募資格は、講演者（ポスター講演も含む）であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費が適用されていて、かつ正式な給与を受けていない人に限ります（日本学術振興会の特別研究員等は、補助対象外です）。

1. 旅費は、年会会場でお渡ししますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越し下さい。 年会終了後にはお渡しできませんので、ご注意ください。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙をコピーしてご使用下さい。
4. 申請先
 郵送：〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会
 FAX：0422-31-5487
 締切 春季年会：1月20日・秋季年会：7月20日 必着
 なお、電子メールでの申請は受付けていません。
 不明な点は、学会事務所にお尋ね下さい（TEL 0422-31-1359）。

..... キリトリセン

年会旅費補助申請書

年 月 日

(社) 日本天文学会 理事長様

(ふりがな)
 申請者氏名 _____ 会員番号 _____

所 属 _____ E-mail _____

講演受付番号 _____ 出 発 地 _____

講演題名 _____

指導教官所属・職・氏名
 (自筆署名)
